

2月7日(日)開催 第2929回例会

兵庫県山岳連盟同調 冬期山行/バスハイク

ふるさと兵庫100山

「雪の朝来山とよふど温泉へ」

布引支部 T.K

新神戸を予定の時間通り出発。車中、山岳連盟理事でもおられる吉野会長から挨拶があり、「今回の冬期山行は希望者が大変多く、バス1台では乗り切れず、やむなく6名を別理事が準備してくれたマイカーに乗って頂き、2台で出発した」とのこと。今日のメンバーには他の加盟団体会員の方も多く参加されておられます。

「天気予報は曇り。山には30cm程の積雪が有るでしょう」との説明を受けたりして車は順調に走行していましたが、舞鶴道へ入ってすぐに渋滞し、走らなくなりました。車内では「舞鶴方面で事故があったらいい？」とか色々な憶測が流れていたのですが、結局はタイヤが冬装備されているか？・・・の点検が道路公団職員によって行われていたことによるものでした。この季節、日本海側へ向かっている道路では仕方のないことでしょうね！・・・バスは無事点検を通過、中国道から播磨道と高速道路を走れたのですが、マイカー車は一般道路へ降ろされたとのことで、私達より20分程の遅れのあと南但馬自然学校からの朝来山登山口へ到着しました。雪山は体力があるので入念な準備体操をしたり、スパッツや雪対応の装備装着を終えスタートとなりました。一歩山へ入るとそこは純白の銀世界、今日はまだ誰も入山されてなく、



降り積もった雪道を行く56名の岳連隊

先頭を行かれる吉野会長がラッセル、後に続く私たちもギュッ、ギュッと雪を踏みしめる感触を味わいました。「雪の下には木の階段があり、それを踏むと滑って危ないので気を付けるように」と言われ、足元に気をつけながら進みました。上を見ると枝の先々まで降り積もった雪や、木の幹に吹き着けられた雪が、たまに枝先からどさっと落ちてきて「キャ！」と叫んでいる人たちもおられました。枝先や木の幹から落ちてくるだけの雪と思っていたら、たまに空からも降って来てカッパを着たり脱いだりで、但馬のお天気の様子やすいには驚きました。



雪を被った竹田城跡を望む(展望の丘より)

11時過ぎ、展望の丘に到着。丁度その時は陽も差して、向かいの山にある雪を被った竹田城跡がくっきりと息を飲むほど美しく見えました。(感激!)小休止の後山頂を目指して出発。直後、雪も降ってきました・・・。1時間ほど登った所に真新しい東屋(雲海展望台)があり、ここで昼食の指示が出ました。全員が座ることは出来ませんでした、頂いた縦走弁当を食べるもよし、行動食で済ませ、弁当は温泉でゆっくり食べるもよしで個人の自由にまかされました。約20分程の昼食後出発。そこから「山頂までは高低差150m、階段がずっと続きます」と言われ覚悟を決めてひたすら登りました。

積雪は山頂あたりで40~50cm程有り、素晴らしい雪景色の中、全員記念写真に納まりました。



朝来山展望台にて記念撮影

時間に余裕があればもう少しゆっくりとしたいところですが、予想もしなかった渋滞があったので、すぐ下山の指示が出ました。下りはムササビコースと名がついた急勾配のジグザグコースで、足を取られずってんころりと転ぶ人も見られましたが、皆さん事故なく無事降りることが出来ました。

楽しみにしているよふど温泉は、ものの3分のところでした。玄関横では今年の干支であるお猿さん親子が迎えてくれました。それにしてもうまくできた張り子の作品でした。



お猿さんのお出迎え

入浴後、貸し切って頂いていた大広間での懇親会が多いに盛りあがったことは言うまでもありません。

新雪と素晴らしい天候、加えて温泉と楽しい懇親会！・・今回も色々感激させて頂いた冬期山行でした。

天 候 晴れ時々雪

担 当 例会委員会

兵庫県山岳連盟 普及委員会

参加者 57名（内当会会員 43名）